



# SPACE SHIFT

Sense the Unseen from Orbit

衛星データ解析技術の  
都市インフラ分野での活用

株式会社スペースシフト

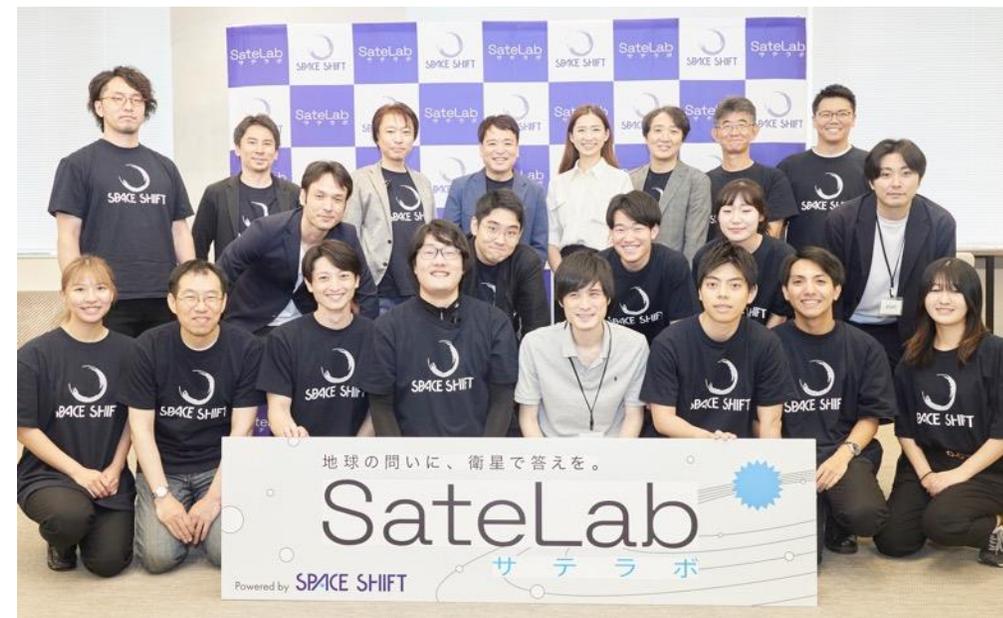
CONSEO インフラDX勉強会

国土強靱化を支える衛星データ駆動型スマートシティ

2025年 8月 27日 (水)



社名		株式会社 スペースシフト
代表取締役		金本 成生 (かねもとなるお)
資本金		678百万円 (資本準備金含む)
設立		2009年12月11日
所在地		東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル6階
その他拠点		鳥取県米子市、米国、欧州(準備中)
ウェブサイト		<a href="https://www.spcsft.com/">https://www.spcsft.com/</a>
事業内容		地球観測衛星データ解析ソフトウェア開発 宇宙ビジネスに関する各種調査、コンサルティング
従業員数		従業員数 25人 インターン 約 50名



スペースシフト、衛星データ事業共創プログラム「SateLab (サテラボ)」を始動、衛星データで地球課題の解決を目指す共創パートナー企業を募集!

～シリーズB投資ラウンド(1stクローズ)で6億円の資金調達、経営体制強化～

スペースシフト 2024年5月28日 10時30分



衛星データ解析システムの開発を手がける株式会社スペースシフト(本社:東京都千代田区、代表取締役 金本成生、以下スペースシフト)は、宇宙フロンティアファンド(運営:スパークス・アセットマネジメント株式会社)、EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合(運営:株式会社環境エネルギー投資)、ほか5社の合計7社を引受先とする第三者割当増資により、シリーズB投資ラウンド(1stクローズ)において6億円の資金調達を実施したことをお知らせいたします。

資金調達に加え、スペースシフトは幅広い産業の企業と連携することで衛星データを活用した事業をグローバルで拡大するため、事業共創プログラムとして「SateLab (サテラボ)」を始動いたしました。衛星データ活用の普及に関する枠組みとして、民間企業が主導する取り組みは国内初です。本日(2024年5月28日)に、WEBサイトも公開いたしました。

## 多様な産業分野のお客様へ衛星データ解析ソリューションを提供

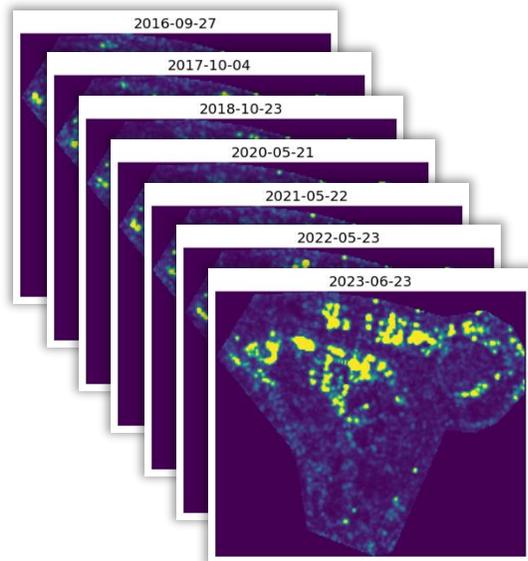


衛星データ解析技術を活用した2つの取り組みをご紹介します



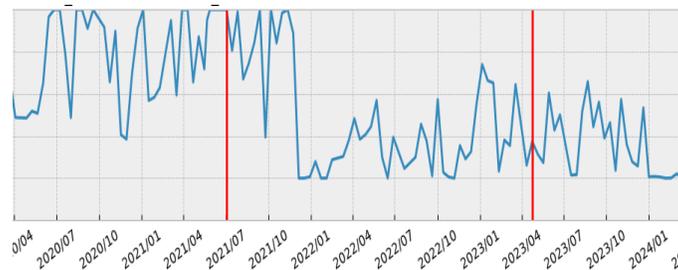
## Sentinel-1 時系列変化検知アルゴリズムを開発・運用

### 時系列のSARデータ

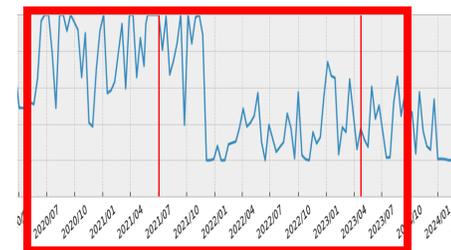


### 時系列変化検知アルゴリズム

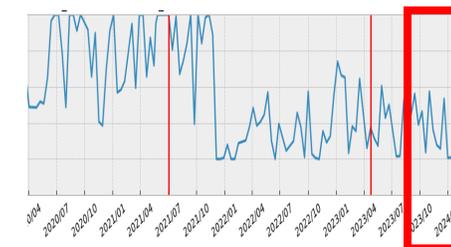
指定エリアで  
**「何らかの変化」**を検知



### 情報抽出

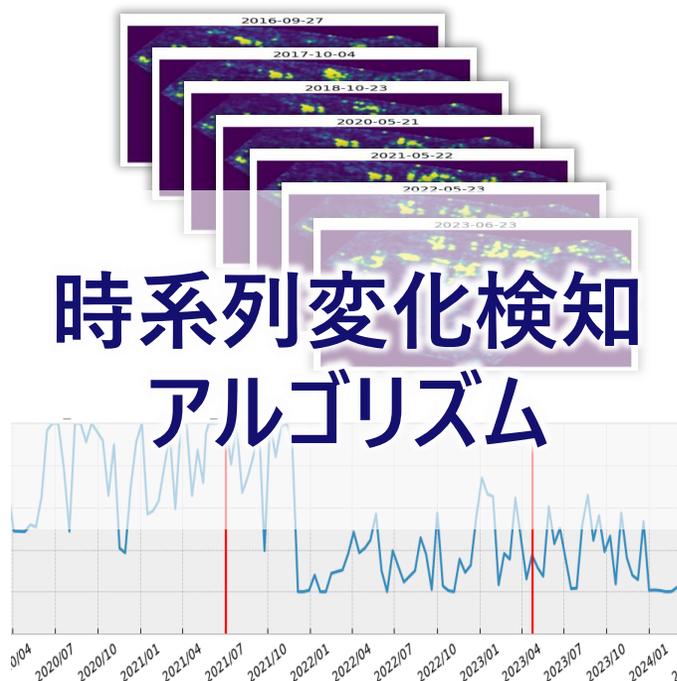


**過去**に変化があったか



**最近**、変化があったか  
→ 異変があればアラート 等

監視が必要な不動産や設備、インフラを保有する多様な業界での活用可能性



## 不動産

担保物件やその近くで変化がないか

## 自社設備

自社の設備や担保物件を含めたエリアに異常はなさそうか

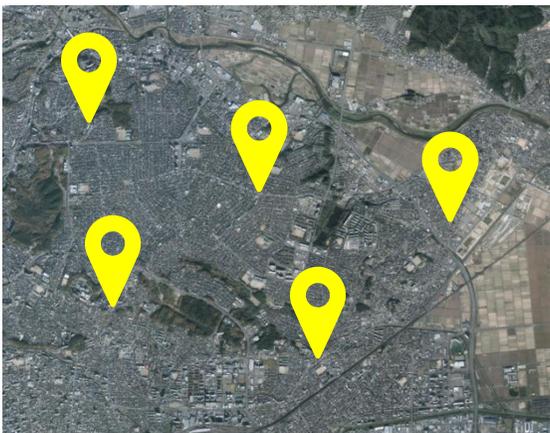
## 管理インフラ

監視対象のインフラに異常はなさそうか

## 想定事例：複数地点の監視業務の最適化を支援

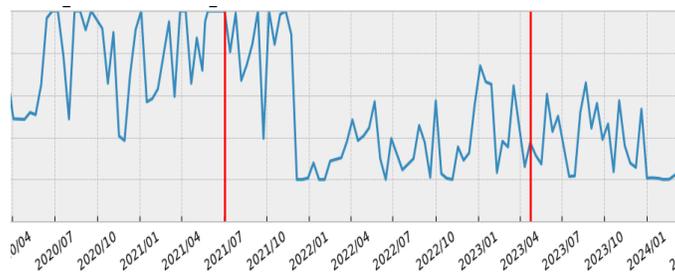
解決課題例：管理物件が多くあり、何かあったときのために監視をするのは非効率

### 1 監視したい地点を選定



国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を使用

### 2 「何らかの変化」があればアラート



### 3 アラートをトリガーに調査開始



机上調査



現地調査



担当者ヒアリング

#### 【活用するうえでの検討課題】

- 衛星データの特性上、物件レベルの情報ではないため、その情報の扱い方をどうすべきか
- 得られた情報をもとにどのような手順で調査すべきか 等



## グリーンインフラの実装フェーズとなり、その導入効果の可視化・評価が推進

### 【国内】



出典：東邦レオ株式会社

### 米国事例

#### ＜ポートランドの取組＞



**高層ビルの屋上緑化**  
雨水管理だけでなく、屋根を保護する効果なども期待されている。



#### Green Street

道路沿いの緑地の縁石を一部空けて、緑地内に雨水を流し込む仕組みになっている。

### 欧州事例

#### ＜自然環境の保全＞



良質な生態系保全のための空き地の活用



#### 都市近郊の河川

連続した生物の生息地のために重要

出典：国土交通省総合政策局環境政策課調査

**現況把握や導入後のモニタリング手法、その効果の評価をする手法が求められている**

## 野生生物が生息・生育する様々な空間\*がつながる生態系のネットワーク

国土交通省「エコロジカル・ネットワークに関する調査」から引用



\*様々な空間：

森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海、  
湿地・湿原・干潟・藻場・サンゴ礁 等

エコロジカル・ネットワークの形成要素とその空間配置（模式図）

出典：「人と自然との美しい共生 エコロジカル・ネットワーク」（国土交通省 H16.3）

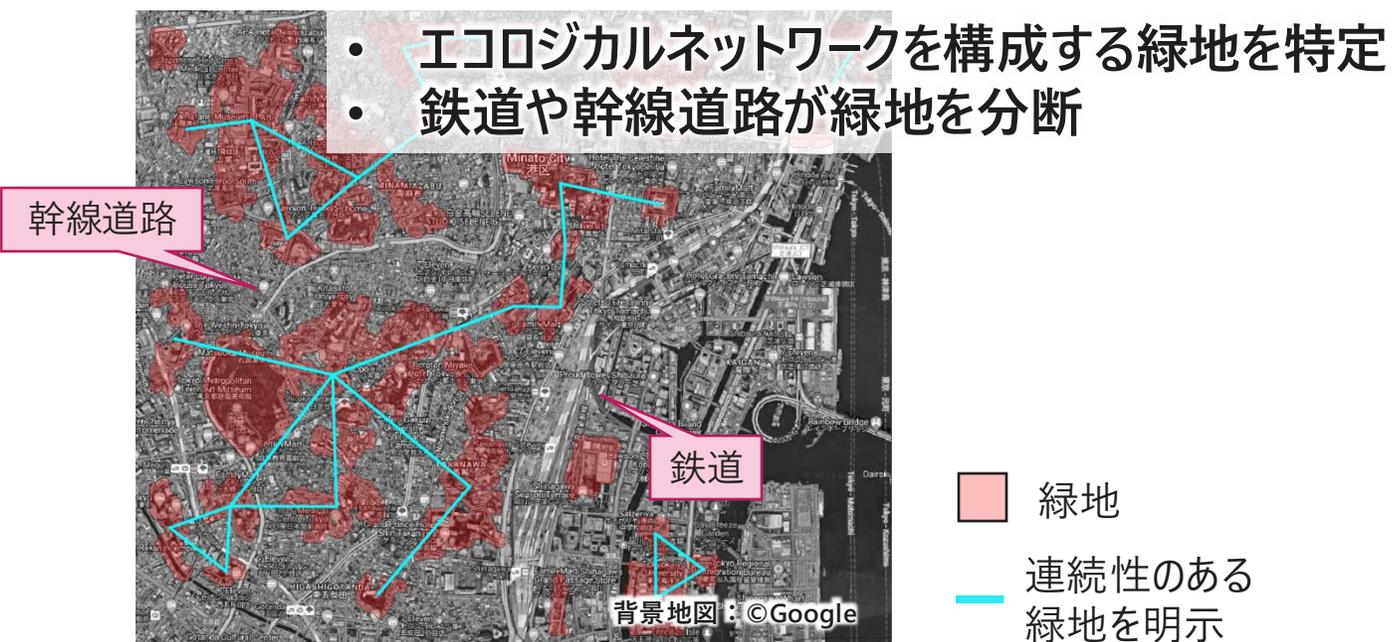
## 解析事例：エコロジカルネットワークの可視化

### 想定ニーズ：都市開発における緑化事業の価値評価

#### 植生指標をもとに緑地を可視化



#### エコロジカルネットワークを可視化



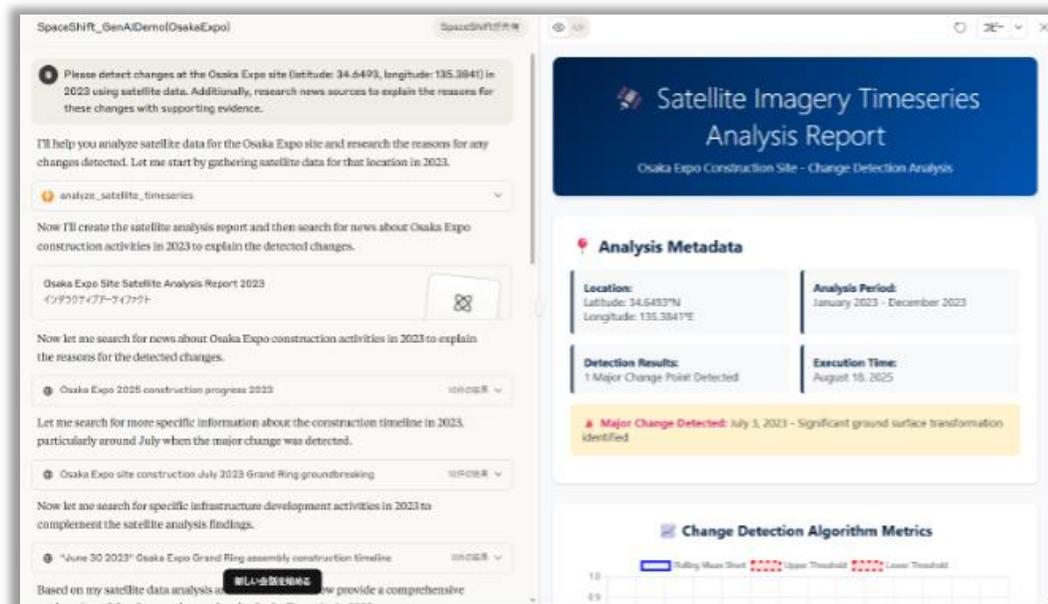
## 紹介事例に限らず、様々なグリーンインフラ導入効果の可視化・評価手法の検討中



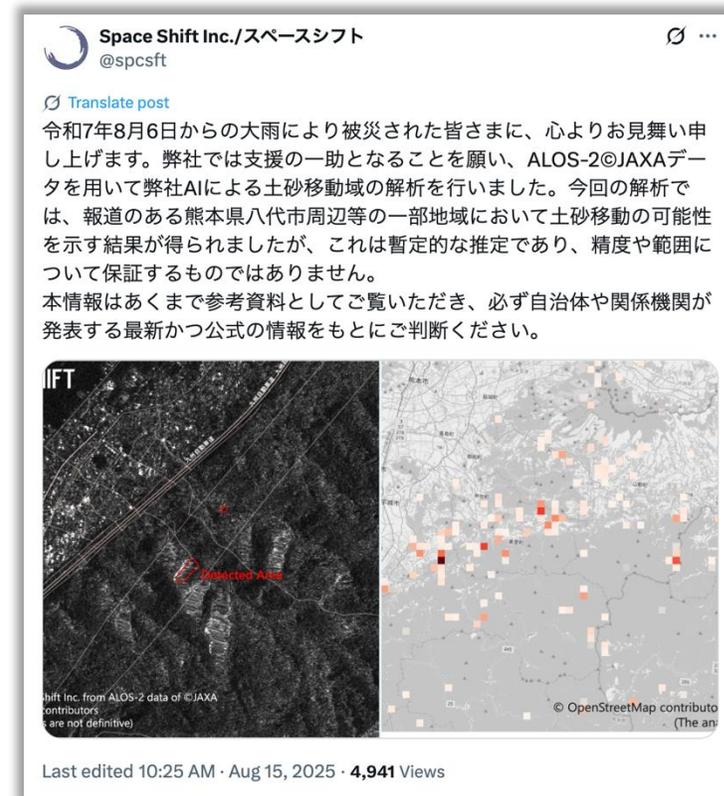
出典：東邦レオ株式会社

## 紹介した取組以外に、様々な技術・ソリューションを開発・提供中

### 【プレスリリース】生成AIサービス向け衛星データ解析ツールβ版（無料）の提供を開始



### 弊社AIによる土砂移動域の解析結果の公開





# SPACE SHIFT

問合せ先：[sales@spcsft.com](mailto:sales@spcsft.com)